# 公益財団法人韓国教育財団
## 2025 年度主要事業実績及び収支決算(案)
（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

## 1. 奨学金給付
日本の諸学校に在学する在日韓国人学生及び日本人学生を対象として奨学金を給付し、経済的理由により修学が困難な学生の学業継続を支援した。また、寄附者の趣旨を反映した冠奨学金事業を実施し、多様な人材育成に努めた。

| 支給対象 | 申請人数 | 選抜人数 | 1 人当年間支給額 | 支給総額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| **財団奨学金** | | | | | |
| **高校生** | 54 名 | 20 名 | 100,000 円 | 2,000,000 円 | |
| **大学生** | 135 名 | 60 名 | 500,000 円 | 30,000,000 円 | |
| **大学院生** | 24 名 | 6 名 | 1,000,000 円 | 6,000,000 円 | |
| **冠奨学金** | | | | | |
| 碧峯(国内大学院) | 上記院生 | 3 名 | 1,000,000 円 | 3,000,000 円 | |
| *TKS(韓国大留学) | 1 名 | 1 名 | 300,000 円 | 300,000 円 | 日本籍 |
| **合　計** | **214 名** | **90 名** | | **41,300,000 円** | |

*TKS 奨学金は、トリリンガルのトミ韓国留学奨学金の略称

## 2. 学術研究機関及び研究者支援事業

**第 60 回在日韓国人教育者研究大会への支援**

在日韓国人教育者及び韓国から派遣された教員による研究活動を支援し、教育現場における実践事例や研究成果の共有を促進した。あわせて、教育研究大会への支援を通じて教育水準の向上及び教育者間の交流に寄与した。

・主　管: 白頭学院 建国幼・小・中・高等学校
・実施日: 2025 年 8 月 18 日～19 日
・場　所: KKR HOTEL OSAKA
・テーマ: 人生 100 歳時代を生きる子供たちへの教育

## 3. 韓国学振興事業
日本における韓国語教育及び韓国学の振興を目的として、韓国語能力試験（TOPIK）の運営及び関連事業を実施した。また、韓国語弁論大会等への支援を通じて、韓国語学習者の学習意欲向上及び韓国文化への理解促進に努めた。

**1）2025 年度韓国語能力試験の管理**

日本国内における韓国語能力試験（TOPIK）の主管団体として、試験の管理及び運営を行った。韓国語学習者に対して公正な受験機会を提供し、日本における韓国語教育の発展に寄与した。

【韓国語能力試験実施内容】

| 実施回 | 第 99 回 | 第 101 回 | 第 102 回 | 第 103 回 |
|---|---|---|---|---|
| 開催会場 | 60 会場 | 57 会場 | 51 会場 | 34 会場 |
| 実施日 | 4 月 13 日(日) | 7 月 13 日(日) | 10 月 19 日(日) | 11 月 16 日(日) |

※試験実施回に空きがあるのは、海外でのみ実施されている回があるため。
※12 月 15 日 100 回記念イベント実施(桜美林大学、来客者 210 名)

2)TOPIK FORUM の実施

韓国語教育関係者及び韓国語学習者を対象としたフォーラムを開催した。韓国語教育を取り巻く課題や試験制度に関する情報共有を通じて、教育関係者間の交流と理解促進に努めた。

【TOPIK FORUM 実施内容】

| | 第 4 回 | 第 5 回 |
|---|---|---|
| 開催日 | 2025.6.14 | 2026.2.7 |
| 開催会場 | 立教大学 池袋キャンパス | 東京国際交流館 |
| テーマ | 多様化する教育現場の韓国語学習動向と TOPIK の連携 | 日本人学習者の特性を踏まえた韓国語スピーキング試験導入へのアプローチ |
| 参加動員数 | 167 名 | 180 名 |

3)第 31 回 在日韓国人学生 韓国語弁論大会への後援

韓国語を学ぶ学生に発表の機会を提供し、韓国語能力の向上と韓国文化への理解促進を図るため、韓国語弁論大会を後援した。参加学生の学習意欲向上と世代間交流の促進に寄与した。

主 管: 千葉韓国教育院
実施日: 2025 年 7 月 19 日(土)14:00～18:00
参加学生: 日本学校(小学生 7 名、中学生 7 名)、韓国学校(小学生 4 名、中学生 3 名)

## 4. 成鍾泰韓国研究所の運用

成鍾泰理事の株式寄附を原資として、韓国学振興及び在日韓国人社会の持続可能な発展に関する研究を推進するため、成鍾泰韓国研究所を設立した。研究活動及び研究成果の社会還元を通じて、日韓両国の教育・文化・学術交流の発展に寄与することを目的として運営を行った。

### 韓国学レクチャーシリーズの実施

韓国の歴史・文化・社会等に関する公開講演会を実施し、韓国学に対する理解促進を図った。専門研究者による講演を通じて、一般市民及び教育関係者へ学術的知見を提供した。

【レクチャーシリーズ実施内容】

| 実施回 | 第 1 回 | 第 2 回 | 第 3 回 |
|---|---|---|---|
| 実施日 | 2025 年 10 月 25 日 | 2025 年 11 月 29 日 | 2025 年 12 月 6 日 |
| 場所 | 帝京大学 霞が関キャンパス | | |
| 講師 | 高田寛太 | 辻大和 | 李美那 |
| テーマ | 海の向こうから見た倭国 | 植物とのかかわりからみる朝鮮王朝の歴史 | 二重言語空間の日韓近代美術家たち |

※同内容においては、講師の許可のもとブックレット作成中

## 5. 日韓交流支援事業

日韓両国間の教育・文化・学術交流を促進し、相互理解と友好関係の深化を図るため、講演会、文化事業及び交流イベント等を実施・支援した。多様な世代が参加する交流の機会を提供することで、両国の相互理解の増進に寄与した。

### 1）尹東柱詩朗誦詩画大会の支援

韓国を代表する詩人・尹東柱の文学作品を通じて、韓国語及び韓国文化への理解を深めることを目的とした大会を支援した。次世代を担う学生の文化交流及び表現活動の促進に寄与した。

主　管: 埼玉韓国教育院、東京韓国学校

実施日: 2025 年 10 月 11 日　11:00～14:30

場　所: 立教大学 太刀川記念館

### 2）第 5 回中高生 K-POP カバーダンス大会への支援

韓国大衆文化への関心を有する中高生を対象とした交流事業を支援した。ダンスを通じた文化交流の機会を提供し、青少年の国際理解及び日韓交流の促進に寄与した。

主　管: 東京韓国教育院

実施日: 2025 年 8 月 6 日（金） 14 時～17 時

参加者: 首都圏の中高生 20 組

### 3）2025 韓国留学博覧会の実施

韓国留学を希望する学生及び保護者を対象に、韓国の大学情報や奨学金制度等を紹介する留学博覧会を実施した。留学相談や大学担当者との交流機会を提供し、韓国留学に対する理解促進と進学支援に努めた。

主　管: 福岡韓国教育院

実施日: 2025 年 5 月 11 日

内　容: 韓国留学案内、韓国大学情報提供、奨学金制度案内、個別相談など

参加大学: 釜山大学など 15 校

## 6. 派遣教員住宅賃貸事業

韓国から派遣された教員等に対して安定した居住環境を提供するとともに、住宅賃貸事業を通じて得られた収益を公益目的事業へ充当した。収益事業として適切な管理運営を行い、財団事業の財政基盤強化に努めた。

## 7. 募金等実績

公益目的事業の安定的な運営を図るため、個人及び関係機関からの寄附金を受け入れた。受領した寄附金については、寄附者の意向を尊重しながら、奨学金給付事業及び韓国学振興事業を中心とした公益目的事業に活用した。

2026 年度寄附実績　**32,658,800 円**